

「貢献」

3年 S.H

皆さんは、自分の親がどんな仕事をして私たちを養ってくれているか知っていますか。そして、その仕事にどんな意味があるのか、どう社会とかかわっているのかを知っていますか。

私は、両親の仕事に一切興味がありませんでした。親がなんとなくどんな仕事をしているのかは知っていましたが、大人になってからその仕事に就こうとは思っていません。このように私は親の仕事に興味がありません。それなのにどうしてこの話題にしたのか気になりますよね。それは、「職場見学会」という一つの企画でした。「職場見学会」とはその言葉通り、親が働いている職場を見学する会です。私の両親は共働きですが、今回の話が上がったのは母親が働いている会社でした。母親が海外に関係した仕事をしていることは知っていましたが、特に興味はありませんでした。そんな私がなぜこの会に参加したのか。理由は簡単です。このことを話された時、私はとてもハンバーガーを食べたかったのです。それで、「来てくれたらその後に美味しいハンバーガー屋さん連れて行ってあげる」という誘惑に負けたのです。こうして行くことになってしまいました。

そして、行ってみると色々なことに驚きました。まずは、セキュリティです。中に入るのも、各階の扉を開けるのもカードをかざす必要があるのです。そんなこと当たり前と思う人もいるでしょうが初めて見た私は驚きました。その次に母親の実際のデスク、働いている部署を見学に行きました。そこで見たのは、テレビなどでやっている職場とほとんど変わらない空間でした。なんとなく想像していたものと違い、新鮮で面白くなっていきました。今回の職場見学会で一番驚いたのは母親がやっている仕事の内容でした。いわゆるデスクワークですが、ただ机に座ってパソコンに文字を打っているだけではなかったのです。私の母親の会社は、日本の企業が海外に進出するのを助けたり、逆に海外の企業が日本に進出するのを助けたりする仕事をしています。例えば、ある和菓子屋さんがアメリカの人々に和菓子のおいしさを知ってもらおうとアメリカへの進出を決めました。しかし、一号店を出すには少し心配です。そんな時に母親が働く会社に依頼するのです。すると、各企業に合わせた販路紹介や、現地などでのトラブルを回避するためのアドバイスなどの支援をしてくれるのです。私はこのようなことに母親が携わっていると知った時、驚きました。そして母の仕事をただ、「海外と関わる仕事」としか思っていなかった自分が少し恥ずかしく思えました。その気持ちと同時にわいてきたのは「すごい」という気持ちでした。実際に母親がやっている仕事は、送られてきた大切な資料に目を通し改良点を企業に伝えたり、いくつかの企業にメールを打ち、資料を送ったりする仕事ですが、それで十分すごいと思いました。会社というのは偉い人だけで成り立っている訳ではないと感じさせられました。

私はこの「職場見学会」に行ってみて良かったと思います。母親の働いている職場に行き、働いている姿を見て私は「働く」というのはただ会社のために「頑張る」ということ

だけでなく日本の社会が回っていくために必要な「力」なのだと思います。

私も将来、きちんと働き社会に貢献したいです。そのために今、やらなければならないことをしっかりやりたいです。